

きょうの紙面

15 萌えファン獲得へ



北海道特産のベリー類をイメージした道公認の萌(も)えキャラ「リトルベリーズ」の携帯端末用アプリケーションが注目を集めている。

ベリーキャラアプリに登場

「萌え」ファン獲得へ

北海道の企業が

北海道特産のベリー類(小果実)をイメージした道公認の萌(も)えキャラ「リトルベリーズ」の携帯端末用アプリケーションが注目を集めている。道内で生産振興が進むハスカップなど3種をそれぞれをイメージしたキャラクターと共に紹介する内容で、観光情報も組み込んだ。企画した企業は「キャラを入りに口に果実や産地を広め、生産者を手助けしたい」と意気込んでいる。

アプリの名前は「リトルベリーズ」の北海道の小果実と観光ガイド。道内の複数の民間企業が運営して道などが協力する

プロジェクトが、無料で提供している。iPhone(アイフォン)などアップル社の端末向けの「ラム」の3姉妹が登場



道産小果実の紹介アプリでタブレット端末に表示した産地の地図(札幌市で)

場。キャラクターの紹介や小果実の説明、産地の地図などを簡単に見られる。

産地が点在する石狩や空知、後志地域の観光案内や、端末のカメラで撮った写真とキャラクターを合成する機能、加工品などを手軽に購入できる

メニューも設けた。

アプリは昨年12月に公開し、既にネット上で話題になっている。農業分野の人材派遣を手掛けるプロジェクト事務局のHMカンパニー(札幌市)によると「キャラクターはデジタル世代の若者にアピールする力があり、

ファンの「好きなキャラを持ち歩きたい」という要望に応えた。出足は好調(林英邦社長)という。

「リトルベリーズ」は農工商連携で道などが進める食クラスター活動の一環で2010年に生まれた。人気キャラクター

「初音ミク」も手掛けるクリプトン・フューチャー・メディア(札幌市)が担った本格派のデザインで、果実を使った菓子などの包装に広く使われている。林社長は「今後は産地でのキャラクターの活用も広げたい」と意気込む。